

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	木造住宅耐震診断・改修支援事業		担当部署	経済建設部 まちづくり課	
総合計画体系			根拠法令計画など	住宅・建築物安全ストック形成事業制度要綱第7、1号イ	
基本政策(大項目)	1	安全で快適な環境の鳴門づくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 16 年度
政策(中項目)	2	安全・安心都市なると			終期
(小項目)		住宅			
施策	1	良好な居住環境の整備			
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 昭和56年5月以前に着工された木造住宅及び診断結果で倒壊する可能性が高いと診断された木造住宅														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	耐震診断を行い、「倒壊の可能性が高い」または「倒壊する可能性がある」と診断された建物の耐震改修(簡易耐震リフォームを含む)を推進し、支援する。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	耐震診断200戸 改修13戸 簡易耐震リフォーム30戸予定														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地震に強い安全な住宅への改修支援戸数</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>戸</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	地震に強い安全な住宅への改修支援戸数	13	13	13	13	13	戸
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
地震に強い安全な住宅への改修支援戸数	13	13	13	13	13	戸										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	臨時職員による土、日曜日を含めた戸別訪問で啓発活動を行い、またイベント等で相談会を設けたり、説明会等を行った。																																																					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度実績</th> <th>26年度実績</th> <th>27年度目標</th> <th>28年度目標</th> <th>29年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>木造住宅耐震診断</td> <td>172</td> <td>129</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>簡易耐震リフォーム</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地震に強い安全な住宅への改修支援戸数</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td colspan="2">38.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	活動指標							1	木造住宅耐震診断	172	129	200	200	200	戸	2	簡易耐震リフォーム	13	13	30	30	30	戸	成果指標								地震に強い安全な住宅への改修支援戸数	8	5	—	—	—	戸		目標達成率(実績/目標)	38.5		—	—	—	%
指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位																																																	
活動指標																																																							
1	木造住宅耐震診断	172	129	200	200	200	戸																																																
2	簡易耐震リフォーム	13	13	30	30	30	戸																																																
成果指標																																																							
	地震に強い安全な住宅への改修支援戸数	8	5	—	—	—	戸																																																
	目標達成率(実績/目標)	38.5		—	—	—	%																																																
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	遅れている																																																				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	6,060	5,880	0	0	8,904	20,844
		全体予算額	6,060	5,880	0	0	8,904	20,844
		決算額	3,341	2,795	0	0	4,921	11,057
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,021千円/人)		総人件費		総事業費	
	0.2			1,376		12,433		

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	14,972	11,057	32,708	32,708	32,708
	うち一般財源	4,171	4,921	7,546	7,546	7,546
	人件費	1,956	1,376	1,956	1,956	1,956
	総事業費	16,928	12,433	34,664	34,664	34,664

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		診断・改修がピーク時を過ぎ成果は伸び悩む傾向にあるが、土、日曜日の戸別訪問等で平日不在の家屋を廻り啓発を行いさらに市民の意識向上に努めた。 戸別訪問で相談に応じたり自治会等で普及に努めるなどした。リフォームに市民の目は向きがちだが、問い合わせもあり今後相談窓口を充実し、また事務の簡素化等も検討したい。
	効率性	B:概ね効率的だった		
②成果に対する評価	指標名	地震に強い安全な住宅への改修支援戸数		改修費用が高額なため、改修まで実施する方は少ない。補助制度の上乗せの検討や市民へ啓発活動をさらに広げて、耐震化を図りたい。
	目標	13	戸	
	実績	5	戸	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		目標値に到達しなかったが、今後事業の見直しを行うことにより事業成果の向上を見込める余地があることから本年度はB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	徳島県耐震改修促進計画及び鳴門市耐震改修促進計画において、平成32年度までに耐震化率100%を目指しているが、倒壊の危険があると診断された住宅の改修費用が高額の場合が多く個人負担が多額となり、改修まで至らない可能性が高く、このままの推移でいくと目標達成は厳しい状況である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	耐震診断、耐震改修の啓発を行いながら、住宅安心リフォーム補助金も工事内容が重複しなければ受けられ上乗せ(併用)でき、負担が少なくできることを案内し、耐震化率を高める。また診断・改修が平成12年に拡充されたのを受け、PRに勤める。			
	H28年度	診断・改修が平成12年にまで拡充したことを啓発活動や自治会、イベント等で広く説明し、また戸別訪問でより浸透するよう普及に努める。			